

公園緑地における眺望保全・再生の手引き（案）の作成



都市研究部 都市防災研究室 (室長
博士(工学)) 竹谷 修一 主任研究官 影本 信明

(キーワード) 公園緑地、景観コントロール、景観評価、都市景観、景観

1. 背景と経緯

借景、富士見など、地域景観を特徴付ける眺望は古くから日本人に親しまれている。なかでも公園緑地は、眺望の視点場として、あるいは城郭等の公園施設が眺望の視対象として重要な役割を果たしてきたとともに、公園緑地内部の景観とも連携し、質の高い良好な景観を形成してきた。ところが近年、公園緑地周辺の都市開発等により、良好な眺望が阻害される状況が全国各地で発生しており、各地方公共団体は2004年に制定された景観法等を活用して眺望の保全に取組んでいる。しかし、眺望保全の考え方や手法が未だ確立していないことなどから、眺望阻害の発生後に取組みを講ずる場合が多く、取組みの効果が十分には發揮されていない状況にある。

そこで本研究は、地域景観を特徴付ける眺望の保

表 手引き（案）の構成

全・再生を促進することを目的として、日本庭園等の公園緑地における眺望の保全・再生を支援するため、公園緑地周辺の景観コントロールを実施する主体との連携が図れるよう眺望の保全・再生の考え方や眺望コントロールの手法等について検討した。

2. 手引き（案）の作成の概要

(1) 公園緑地における眺望保全・再生のあり方及び眺望コントロール手法の検討

日本庭園等の公園緑地における眺望保全・再生のあり方を検討するとともに、それに基づき眺望コントロールの技術・手法について検討を行った。

(2) 公園緑地周辺景観コントロール手法の検討

眺望景観の類型に応じたケーススタディを行い、実施にあたっての配慮事項・留意点等について整理

し、公園緑地周辺景観コントロール手法や課題を検討した。

(3) 手引き（案）の作成

視覚心理実験を実施し、それに基づき公園緑地周辺景観コントロール手法の再整理を行い、手引き（案）を作成した。

構成は表のとおりである。

☞詳細情報はこちら

- 1) 国総研資料 No. 945
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/ttn/ttn0945.htm>

本手引き（案）の目的・活用方法	
原論編	1. 公園緑地における眺望景観とは
	1-1 我が国の公園緑地と眺望景観の特徴
	1-2 公園緑地からの眺望の分類軸と種類
実践編	2. 現在の公園緑地における眺望景観の課題
	3. 公園緑地における眺望景観のタイプ
	3-1 公園緑地における眺望景観の4つのタイプ
	3-2 各眺望景観タイプの基本構造と課題
事例編	4. 公園緑地周辺景観コントロール手法
	4-1 公園緑地周辺景観コントロールの前提
	4-2 各眺望景観タイプにおける周辺景観コントロール手法
	タイプ A-1 (園内+園外) :水平パノラマ景
	タイプ A-2 (園内+園外) :水平ピクタ景
	タイプ B (園外) :俯瞰/パノラマ景
	タイプ C (園内) :水平パノラマ景
	(1) 園内におけるコントロール手法 / (2) 園外におけるコントロール手法
	(3) 眺望景観の保全・再生の範囲 / 公園緑地周辺景観コントロール手法 体系図
	5. 公園緑地周辺における景観コントロールの取組み事例
	5-1 各眺望タイプにおける眺望保全・再生の取組み事例
	5-2 その他参考となる眺望保全・再生の取組み事例
本手引き（案）で扱う用語	